

課題番号 8

| 基本方針：Ⅱ | | 課題名：柿産地ブランド強化の推進 | |
|--------------------------------|--|---|--|
| 対象：JAならけん五條柿部会 JAならけん西吉野柿部会 | | 計画期間：R3～R5 | |
| | | 事務所名：南部農林振興事務所 | |
| 普及指導事項 | 活動内容 | 活動成果（計画当初→R4年度末） | |
| ①未来の柿産地を支える生産体制確立支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・班長会等を通じた品種転換誘導 ・既存畑管理の意向調査 ・品種転換モデルの作成・啓発 ・実証圃設置・巡回指導 ・収量調査 | 刀根早生優良系統の導入面積 23ha → 31.7ha | |
| ②富有柿の高糖度安定生産に向けた支援 | | 既存畑の今後の意向把握 0/663ha → 509/663ha | |
| ③主要病害虫の効率的防除等の推進 | | 高糖度条件把握 調査中 → 葉面散布で果重肥大糖度の向上効果不明 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実証圃設置・現地調査 ・果実品質調査・検討会 | 実証圃平均糖度 15.2度 → 16.4度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導 ・講習会等での周知 | 選果場の秀品率 刀根早生 46% → 51% 富有 54% → 58% | |

| |
|--|
| 総合評価（コメント） |
| <p>A：5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中長期的な課題であり、短期的な成果や評価で総合評価すべきではないと思います。重要な課題ですので継続して頑張ってください。 ■全国的な収量減による単価高で生産者の所得はそれなりに確保できたと思われます。 ■日本有数のカキ産地の維持も視野に入れた課題の設定であり、奈良県農業の振興を考えるうえでもこの課題設定は有効。 ■柿の産地のために指導して頂く事がとても重要だと思います。 <p>B：1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■優良農地の活用、柿の高品質安定生産、病害虫対策、放任園対策等課題が多い。今後とも支援を続けてもらいたいです。 |

| |
|--|
| 普及指導計画への反映状況等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■中心的担い手の経営は大規模化しているが、雇用労力の確保が年々困難になってきている。収穫作業が集中する10月上旬の作業労力の分散が必要であるため優良早生系統の導入や老木園の改植による品種・樹齢構成の適正化に取り組んでいく。 ■温暖化等気候変動により、主要病害虫の発生状況が変化している。また、近年放任園が散見され病害虫の発生源となっている。高品質果実の安定生産のため、主要病害虫の防除技術向上や放任園対策に取り組んでいく。 |